

2024 年 6 月 16 日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒63 番（旧 183 番）（MK 姉）

『わが愛する主は』

聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 6 章 14~17 節（MM 姉，MY 姉）

『しかし、このわたしには、わたしたちの主イエス・キリストの十字架のほかに、誇るものが決してあってはなりません。この十字架によって、世はわたしに対し、わたしは世に対してはりつけにされているのです。割礼の有無は問題ではなく、大切なのは、新しく創造されることです。このような原理に従って生きていく人の上に、つまり、神のイスラエルの上に平和と憐れみがあるように。これからは、だれもわたしを煩わさないでほしい。わたしは、イエスの焼き印を身に受けているのです。』

礼拝讃美歌⇒132 番（旧 196 番）

『栄えの主イエスの』

聖書⇒聖書⇒詩編 32 編 1b~5 節（SK 兄）

『いかに幸いなことでしょう／背きを赦され、罪を覆っていただいた者は。

いかに幸いなことでしょう／主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。

わたしは黙し続けて／絶え間ない呻きに骨まで朽ち果てました。

御手は昼も夜もわたしの上に重く／わたしの力は／夏の日照りにあって衰え果てました。〔セラ  
わたしは罪をあなたに示し／咎を隠しませんでした。わたしは言いました／「主にわたしの背きを告白しよう」  
と。そのとき、あなたはわたしの罪と過ちを／赦してくださいました。〔セラ』

（祈）

礼拝讃美歌⇒168 番（旧 53 番）（KH 兄）

『妙なる救いの』

## 《パン裂き》

聖書⇒マタイによる福音書 26 章 26~29 節 (KH 兄)

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。言うておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。』』

(式)

礼拝讃美歌⇒151 番 (旧 216 番)

『ああ主よわれら』

## 《建徳》

聖書⇒マラキ書 3 章 8~10 節 (HK 兄)

『人は神を偽りうるか。あなたたちはわたしを偽っているながら／どのようにあなたを偽っていますか、と言う。それは、十分の一の献げ物と／献納物においてである。あなたたちは、甚だしく呪われる。あなたたちは民全体で、わたしを偽っている。十分の一の献げ物をすべて倉に運び／わたしの家に食物があるようにせよ。これによって、わたしを試してみよと／万軍の主は言われる。必ず、わたしはあなたたちのために／天の窓を開き／祝福を限りなく注ぐであろう。』

聖書⇒マラキ書 3 章 19~20 節

『見よ、その日が来る／炉のように燃える日が。高慢な者、悪を行う者は／すべてわらのようになる。到来するその日は、と万軍の主は言われる。彼らを燃え上がらせ、根も枝も残さない。しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには／義の太陽が昇る。その翼にはいやす力がある。あなたたちは牛舎の子牛のように／躍り出て跳び回る。』

聖書⇒マラキ書 3 章 6~7 節 (KH 兄)

『まことに、主であるわたしは変わることがない。(しかし) あなたたちヤコブの子らにも (は) 終わりはない。あなたたちは先祖の時代から／わたしの掟を離れ、それを守らなかった。立ち帰れ、わたしに。そうすれば、わたしもあなたたちに立ち帰ると／万軍の主は言われる。しかし、あなたたちは言う／どのように立ち帰ればよいのか、と。』

聖書⇒創世記 27 章 36 節

『エサウは叫んだ。「彼をヤコブとは、よくも名付けたものだ。これで二度も、わたしの足を引っ張り (アーカブ) 欺いた。あのときはわたしの長子の権利を奪い、今度はわたしの祝福を奪ってしまった。」エサウは続けて言った。「お父さんは、わたしのために祝福を残しておいてくれなかったのですか。』

聖書⇒マラキ書 3 章 11 節

『また、わたしはあなたたちのために／食い荒らすいなごを滅ぼして／あなたたちの土地の作物が荒らされず／畑のぶどうが不作とならぬようにすると／万軍の主は言われる。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 13 章 8 節

『イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることのない方です。』

聖書⇒テモテへの手紙二 2 章 13 節

『わたしたちが誠実でなくても、／キリストは常に真実であられる。キリストは御自身を／否むことができないからである。』

聖書⇒詩編 73 章 25~27 節

(百瀬兄による補遺)

『地上であなたを愛していなければ／天で誰がわたしを助けてくれようか。  
わたしの肉もわたしの心も朽ちるであろうが／神はとこしえにわたしの心の岩／わたしに与えられた分。  
見よ、あなたから遠ざかる者は滅びる。御もとから迷い去る者をあなたは絶たれる。』

礼拝讃美歌⇒254 番 (旧 307 番) (KH 兄)

『昨日も今日も永久に』

《建徳要旨》